

社長挨拶

株式会社東京国際フォーラム代表取締役社長の末松建樹(すえまつけんじゅ)でございます。

2011年度は東日本大震災の影響の直中からスタートいたしました。

東京国際フォーラムにおきましても相当数の催事が、開催を見送られたり、時期や規模を見直されたりいたしました。

当社の設備も、震災ならびにその後の一連の余震の影響でその一部に損傷を生じたため、4月中旬から1か月半にわたって、ホールA・ホールB7・ホールB5の貸出を休止せざるをえない事態におちいりました。既に催事開催の準備を進めていただいておりました主催者様、そして催事を心待ちにされておりました来館者の皆様方には、多大なご迷惑をおかけいたしましたことを改めてお詫び申し上げます。

また、夏には国の指示により、最大使用電力を 15%削減することを求められるなど、未経験の事態に直面することとなりましたが、利用者様がたのご理解とご協力により目標を達成することが出来ました。

このように 2011 年度は、たいへん厳しい状況からスタートいたしましたが、秋以降は復興へと向かって力強く進んでいく世の流れと呼応するように、当社もにぎわいを取り戻してまいりました。そのような中で、東京国際フォーラムにおいても、震災復興を支援するさまざまな催事を開催していただきました。当施設が復興の一助を担うことができましたことを、たいへんうれしく思っております。

さて、2012年、東京国際フォーラムは開館15周年をむかえました。

1997年の開館以来、東京国際フォーラムは国内最大の"コンベンション&アートセンター"として、数多くの感動へとつながる、ヒトや情報との出会いを演出してまいりました。

「ここから、はじまる」

明日への強い決意を込めたこの言葉を 15 周年のキャッチフレーズとし、これからも東京の顔として愛される存在になれるよう、走り続けてまいります。

今後とも東京国際フォーラムにご注目ください。



代表取締役社長 末松 建樹

会社概要 (2012 年 4 月 1 日現在)

名 称 株式会社東京国際フォーラム

(英文名称: Tokyo International Forum Co., Ltd.)

所 在 地 東京都千代田区丸の内三丁目5番1号

設立年月日 2003年4月4日

主要事業 ① 東京国際フォーラムのホール、 会議室等の管理運営

- ② 東京国際フォーラムのサービス施設の 管理運営
- ③ 国際交流促進のための催事の企画、制作、 実施及びその受託
- ④ その他上記に付帯する一切の業務

代表 者代表取締役社長 末松 建樹

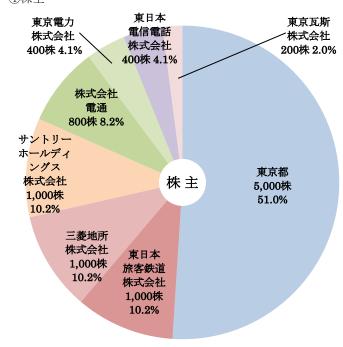
資 本 金 4億9000万円

経営理念

東京国際フォーラム(Tokyo International Forum)は、リーディング・コンベンション&アートセンターとして、コミュニティ・東京・日本の魅力を高め、その魅力世界に向けて発信する感動創造企業である。

株式の状況

- ①会社が発行する株式の総数・・・・・9,800株
- ②発行済株式総数 · · · · · · · · 9,800 株
- ③株主数・・・・・・・8名
- **④株主**



経営指針

- ●TIFは、最高の品質とサービスを提供する、リーディング・コンベンション&アートセンターである。
- ●TIFは、東京と日本の「いま」がわかる、リーディング・コンベンション&アートセンターのオンリー・ワン・ブランドを目指す。
- ●TIFは、競争と協調の精神で、東京の顔である「大手町・丸の内・有楽町」地区の魅力あるまちづくりの核として、地域社会に貢献していく。
- ●TIFは、東京の魅力、まちの賑わい、人々の感動に満ちた、情報発信の拠点である。
- ●TIFは、自らの感性を高め、お客様の気持ちを敏感にとらえ、喜びと満足をお客様と分かち合う。
- ●TIFは、透明性が高く、効率的で高収益、高付加価値を創造する経営を目指す。

経営陣

 代表取締役社長
 末松
 建樹

 取締役会長
 鳥海
 巖

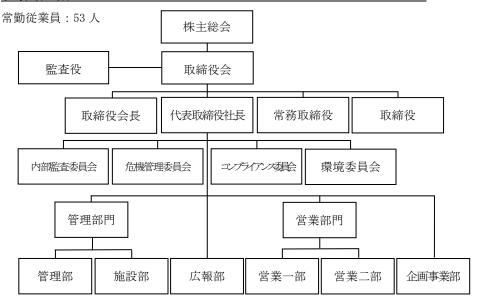
 常務取締役
 須永
 五郎

 取締役
 上垣
 智則

 監査役
 実井
 憲彦

 監査役
 栗田
 勝

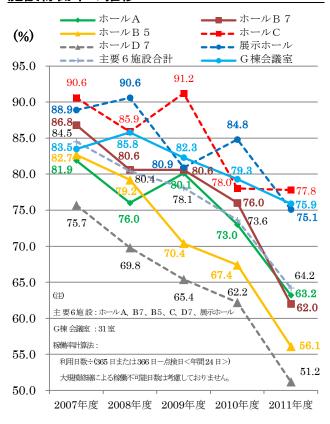
組織概略図



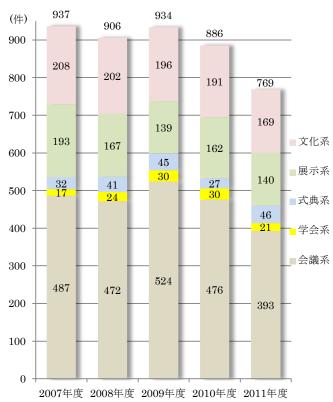
2011年度事業報告

ホール等運営、サービス施設運営

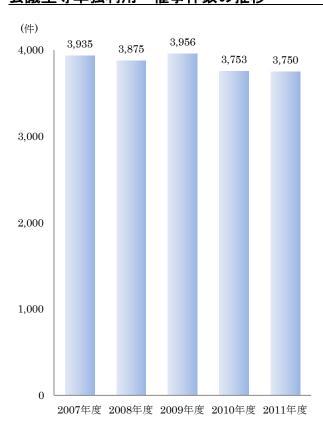
施設稼働率の推移



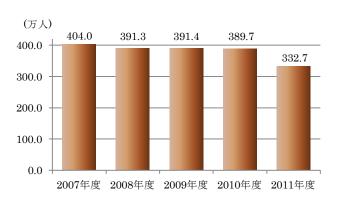
主要ホール利用 種別催事件数の推移



会議室等単独利用 催事件数の推移



店舗等利用者数の推移



駐車場利用台数の推移



2011年度に開催された主な催事

区分		 会期	
会議系	全国知的障害関係施設長等会議	6月6日~7日	A, B7, B5, C
	第 24 回世界建築会議 UIA2011 東京大会	9月25日~10月1日	全館
	第4回 IWA アジア太平洋地域会議(IWA-ASPIRE)	10月2日~5日	B5, C, D7, D5, 展1, LG, 会, G
•	産業安全運動 100 年記念・第 70 回全国産業安全衛生大会	10月12日~14日	A, B7, B5, C, D7, 会
-	ジーシー創業90周年・GC友の会55周年 第3回国際歯科シンポジウム	10月22日~23日	全館 (A 除く)
	全日本手をつなぐ育成会第60回全国大会(東京大会)(本人大会)	11月5日~6日	A, B7
-			B5, D5, 会
当人 ガ	第20回アジア・太平洋議員フォーラム総会		
学会系	第115回日本眼科学会総会	5月12日~15日	B7, B5, C, D7, D5, 展, LG, 会
-	第60回日本医学検査学会	6月4日~5日	B5, C, D7, D5, 会, 展
-	第29回日本顎咬合学会学術大会・総会	6月11日~12日	B7, B5, C, D7, 会, 展
-	第 32 回 C M S 学会	9月11日	A, B7
	第65回日本臨床眼科学会	10月7日 ~ 10日	全館
	全国自治体病院学会第50回記念大会	10月19日 ~ 20日	B7, B5, C, D7, D5, D1, 会
	第56回日本未熟児新生児学会学術集会、第21回日本新生児看護学会学術集会	11月13日 ~ 15日	B7, B5, C, 会
	TEAM2011 第 50 回日本網膜硝子体学会・第 28 回日本眼循	12月2日 ~ 4日	B7, B5, C, 会
	環学会・第 17 回日本糖尿病眼学会合同会議	12 万 2 日 - 4 日	D1, D0, C, 云
	日本総合健診医学会第40回大会/第20回国際健診学会	1月20日~21日	B5, C, D7, D5, 会
系典 为	東レ先端材料シンポジウム 2011・東レ先端材料展 2011	9月14日~15日	A,展,LG
-	民間放送 60 周年記念全国大会	11 月 1 日	A, B7, B5, D7, 会
•	JTB 創立 100 周年記念式典・記念レセプション	3 月 12 日	A, 展, LG
表示系	JITAC EUROPEAN TEXTILE FAIR	4月26日~28日	展 1, 会
	Value Presentation 2011	6月15日~16日	B5, D7, D5, 展 1, LG, 会
•	ヒューマンキャピタル 2011	7月6日~8日	B7, 展, 会
•	アートフェア東京 2011	7月29日~31日	展 1, 会, LG
-	よしもとワンダーキャンプ東京~ラフアンドピース 2011~	8月11日~13日	展,会,地
•	元気!つなごう 結の力	9月3日~4日	展
-	イノベーション・ジャパン 2011 - 大学見本市	9月21日~22日	展, 会
-	緑十字展 2011 一 働く人の安心づくりフェア 一	10月12日~14日	展
•	F I T 2011 金融国際情報技術展	10月12日 14日 10月19日 ~ 20日	展,会
-	1. 1.1 2011 並献国际自私文州及 C&C ユーザーフォーラム&iEXP02011		 全館(A, D5 除く)
			展1
-	子供未来とうきょうメッセ 2011	11月25日	
	SUPER BOX 2011	11月29日~12月1日	D7, D5, D1, 会, 展
	第 21 回国際ミーティング・エキスポ (IME2011)	12月14日 ~ 15日	展 1, 会
-	東京から元気を!被災地復興応援フェスタ	12月19日 ~ 21日	展 2
-	メディセオ医療機器フェア in 東京国際フォーラム	2月4日~5日	展 1
	エフピコフェア 2012	2月22日~24日	展, LG, 会
-	Cloud Days Tokyo 2012	2月28日~29日	B7, B5, 展, 会
	東証 I Rフェスタ 2012	3月9日~10日	展
化系		7月9日~10日	
	松任谷由実コンサートツアー2011	8月10日~11日	A
•		10月27日 ~ 28日	
·ē	ドラムライン LIVE	8月9日~14日	C, 会
	東京 JAZZ 2011	9月2日~4日	A, B5
	「デフ・レパード」ジャパン・ツアー2011	11月7日 ~8日	A
•	「マネーボール」ジャパンプレミア	11 月 9 日	A
-	市 台東亦	12月1日 ~ 2日	٨
	東京事変	12月6日 ~ 7日	A
•	上原ひろみ ザ・トリオ・プロジェクト feat. アンソニージャクソン&	10 日 0 口 - 4 口	Λ.
	Note that the second by the se	12 月 3 日 ~ 4 日	A
	サイモンフィリップス "VOICE"日本ツアー		

会場名称

A: ホール A、B7: ホール B5、B5: ホール B5、C: ホール C、D7: ホール D7、D5: ホール D5、D1: ホール D1、会: 会議室展: 展示ホール(全面)、展1: 展示ホール(1)、展2: 展示ホール(2)、LG: ロビーギャラリー、GL: ラウンジ、地: 地上広場

2011年度事業報告

自主企画事業

東京国際フォーラムは、魅力あるまちづくりの核として、また、文化の創造と発信の拠点として、地域や社会への貢献に資する自主企画催事を開催しています。

ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭2011~タイタンたち~

ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭2011は、東日本大震災の影響により規模を縮小することになりましたが、音楽が困難や悲しみを乗り越える力をもたらし、勇気を与えてくれることを信じ、「とどけ!音楽の力 広がれ!音楽の輪」を合言葉に、東日本大震災からの復興への願いを込め開催いたしました。

- ◎会 期 2011年4月28日 (木) ~5月5日 (木·祝)
- ◎会 場 東京国際フォーラム、よみうりホール及び東京・丸の内エリア
- ◎来場者数(延べ人数) 220,774人
- ◎出演者総数 1,342人(うち有料プログラム 海外128人 国内482人 計610人)
- ◎総公演回数 274公演(回)
- ◎チケット販売数 45,145 枚
- ◎義援金総額 2,973,121円(5月31日(火)付で東京都福祉保健局を通じて、寄付いたしました。)5月2日から5日までの募金額 1,701,121円、5月2日復興支援スペシャルコンサートチケット収入額 1,272,000円

トピックス

1 斬新で刺激的なオリジナリティを創造

今年も、LFJでしか体験できない作品の数々が誕生しました。

- ◎望月京(もちづき・みさと)氏によるブラームスへのオマージュ作品「インテルメッツィIV」を世界初演
- ◎モーション・トリオのアコーディオン三重奏によるブラームスとリストのユニークな編曲作品(展示ホールで開催)
- ◎ダンサー勅使川原三郎氏と室内楽演奏(シェーンベルク:月に憑かれたピエロ)とのコラボレーション

2 「音楽の楽しさ、素晴らしさ」を子どもたちへ

子どもたちも一緒に音楽の楽しさ、素晴らしさを体験できるのもLF J ならでは。ファミリーに大人気の「0歳からのコンサート」に加え、特別ワークショップ「みんなで歌おう~子どものためのアトリエ~」を開催しました。

- ◎「みんなで歌おう~子どものためのアトリエ~」"ヴォーチェス8"と一緒になって、体全体から声を出し、アンサンブルを楽しむワークショップ。会場には笑顔があふれました。
- ◎「0歳からのコンサート」

ホールAが震災の影響により使用できなくなったため、展示ホールの無料コンサートとして実施しました。

展示ホールでの無料コンサートは、音大生・社会人・有料公演出演アーティストなど多彩な出演者たちが熱き演奏を繰り広げ、3日間で約28,000人もの方々が来場されました。

3 "熱狂"は、さらなる広がりを見せる

7回目を迎えるLFJは、"面的"にもさらなる広がりを見せました。よみうり ホールが新たに会場として加わったのをはじめ、有料公演アーティストや人気プログラムが丸の内エリアにも登場しました。

◎よみうりホール

新たな有料公演会場として、ピアノを中心とした室内楽のコンサートが繰り広げられました。3日間で12公演が行われ、約12,000人の方々が来場されました。

4 「とどけ!音楽の力 広がれ!音楽の輪」のもと復興を支援

◎義援金募金・被災地物産販売を実施

会場では、東北地方の酒や野菜、加工品、及び、風評被害を受けている北関東の野菜など、産地直送の品々を販売しました。被災されて東京に避難している方も販売に携わりました。

◎東日本復興支援スペシャルコンサート

5月2日(月)ホールCにて開催。国内外4つの団体・グループが出演したコンサートはバッハの「G線上のアリア」で幕を開け、復興支援への思いを演奏にのせて届けました。

◎「ルネ・マルタンの"ル・ク・ド・クール"」(ハート直撃コンサート)"ル・ク・ド・クール"は(選者の)"イチオシ"という意味で、その名の通り、ルネ・マルタン氏おススメのアーティストや曲を集めたコンサート。今年はテーマを超えて、被災者を思う気持ちを込めた作品も演奏されました。



とどけ! 音楽の力

広がれ! 音楽の輪



「ネオ屋台村」スーパーナイト

都会の中のオアシス的空間として皆様に親しまれている地上広場。平日のランチタイムには、バラエティに富んだお弁当を選べる「ネオ屋台村」が人気ですが、この「ネオ屋台村」の"ビヤガーデン"バージョンが「『ネオ屋台村』スーパーナイト」。2011年は震災の影響により6月からの開催となりました。毎月ケータリングカーが約20台集結し、多彩なメニューとドリンクをお手ごろな価格で提供。緑の下で楽しめる雰囲気が近隣のサラリーマンやOLたちに人気のイベントです。

◎会 期 2011年6月~11月(毎月1回)

◎会 場 東京国際フォーラム 地上広場



●●●東京国際フォーラムで要休み●

20011

丸の内キッズフェスタ2011~東京国際フォーラムで夏休み~

8月15日(月)から8月17日(水)の3日間、東京・丸の内の東京国際フォーラム等で開催された「丸の内キッズフェスタ2011」に延べ11万人のご来場を頂きました。会場には元気いっぱいの子どもたちが大集合!親子ともども100を超える様々なプログラムが体験でき、"大人の街"丸の内に子どもたちのキラキラした笑顔と歓声があふれた3日間でした。

◎会 期 2011 年 8 月 15 日 (月) ~8 月 17 日 (水)

◎会場東京国際フォーラム展示ホール、地上広場、ホール D5、ガラス棟会議室・ラウンジ、ロビーギャラリー、フォーラム・アート・ショップ

丸ビル1階マルキューブ ほか

- ◎来場者総数(延べ人数) 110,000人
- ◎実施プログラム数(延べ回数) 324
- ◎企画アイテム数 108
- ◎協力団体・企業数 102 (プログラム・コンテンツをご提供いただいた団体・企業)







開館 15 周年を記念した取り組み

1997年1月の開館以来、国内最大のアート&コンベンションセンターとして、数多くの感動へとつながるヒトや情報との出会いを演出し、ここに15年目を迎えることができました。

開館 15 周年を記念してキャッチフレーズとロゴマークを制定し、地上広場・館内店舗壁面等に掲出するとともに、2012 年 1 月から 12 月まで「15 周年記念キャンペーン」を展開します。

- ◎キャッチフレーズ 「ここから、はじまる」
- ◎ロゴマークコンセプト

東京国際フォーラムの特徴である外観をシンボリックに表現し、各ホールのイメージカラーで 多様性を示しています。今までも、そしてこれからも、この地でさらに存在感を高め、創造力 を発揮し続ける様を表しています。

◎キャンペーン

2012 年 12 月 31 日まで ホールD7、D5、D1 ご利用の主催者様に 15 周年記念お弁当プレゼント ©15 周年記念イベント

3月28日 開館15周年記念 LFJオフィスコンサート (4月9日、4月18日にも実施)

3月15日 開館15周年記念 ネオ屋台村スーパーナイト(例年4月開始を、今年は3月から開始)

5月28日 マイケル・サンデル特別講義「ここから、はじまる。民主主義の逆襲」

8月14日~16日 丸の内キッズジャンボリー2012

ここから、はじまる



ほか

東日本大震災による影響

震災発生時被害状況

ケガ人なし、火災なし、一部施設損傷あり。

震災時の対応

消防計画、震災時対応マニュアル等に定めた自衛消防活動を行い、安全に避難誘導を実施しました。

帰宅困難者等への対応

安全確認のできた展示ホール等へ帰宅困難者 4,300 名を受け入れました。

その中には、修学旅行から帰途中の東京駅で被災した新潟県糸魚川市立糸魚川中学校の生徒 183 名もいました。地元を離れ 不案内な土地でのこともあり、不安気な様子の生徒たちも、暖かい展示ホールに入るとホッとした表情に変わりました。 翌朝、全員がバスに分乗して新潟へと元気に出発し、後日、生徒ひとりひとりから直筆のお礼状をいただきました。





避難者の受入準備

3月21日、東京国際フォーラムは震災被災者及び福島第1原子力発電所事故による避難者の受入場所として指定されました。 展示ホール(2)の全面に畳を敷き詰め洗濯機を設置するなど、避難者の方々が当座の生活に支障をきたすことのないよう準備 を進めました。結果として、先行する受入施設で対応し、当館の避難者受入はありませんでしたが、非常時の拠点という新 たな使命を自覚いたしました。

東日本大震災とその余震に起因する施設損傷によるホールA·B7·B5の貸出休止について

東京国際フォーラムでは東日本大震災の後、施設及び設備の点検を実施し、安全を確認した上で営業してまいりました。その後の一連の大きな余震を受けて改めて点検した結果、電気系統に不具合があることが新たに判明しました。

このため、適切な処理をするまでの間、当該電気系統の給電範囲であるホールA・B7・B5の貸出を、4月15日から6月2日までの間、休止いたしました。

突然の貸出休止により、主催者及び関係者の皆様、催事参加者各位に大変ご迷惑をおかけすることになりましたが、安全を 最優先に判断させていただきました。

経 緯

●3 月 11 日 (金)、震災直後から、館内の安全確保を最優先に、各ホール及び公共スペースなど施設全体の一斉点検を実施しました。

建物の天井及び壁、舞台機構、各種照明、空調設備等の一部に損傷が確認されたため、帰宅困難者の受入終了後、施設 貸出を休止して修繕を開始しました。

- ●3月15日(火)以降、修繕および安全確認ができた施設より順次貸出を再開しました。
- ●4 月上旬、断続的に発生する余震の状況を踏まえ、再度安全点検を実施したところ、ホールA舞台天井裏の電気系統の不具合を新たに確認しました。損傷部位の重要性に鑑み、当該電気系統の給電範囲であるホールA・B7・B5の貸出を休止したうえで修繕を実施することを決定しました。
- ●4月15日(金)から6月2日(木)まで、修繕のためホールA・B7・B5の貸出を休止しました。
- ●6月3日(金)、ホールA・B7・B5の貸出を再開しました。

節電への取り組み

東京国際フォーラムでは、震災後速やかに館内の照明の減灯や設備の運用見直しを実施しました。経済産業省から「電気使用制限等規則」に基づく電気使用制限が設定されて以降は、最大使用電力の15%削減に取り組みました。

(主な取組み内容)

事務スペース及びバックヤードの節電 … 事務室の空調温度を 28℃に設定、照明の 50%減灯 など 公共スペースの節電 … ガラス棟ライトアップの取りやめ、照明の減灯、エレベーター・エスカレーターの一部停止 など 貸出スペースの節電 … ロビー照明の一部減灯、光床・光壁の消灯、作業用照明の出力低下 など 店舗への節電協力要請 … 空調温度の見直し、店内照明の間引き、自動販売機の省エネ設定 など

主催者ならびにお客様のご協力をもちまして、制限値を超えることなく電気使用制限期間を終了することができました。なお、東京国際フォーラムでは、引き続き消費電力の削減に取り組んでまいります。







ガラス棟ライトアップの取り止め

光床の消灯

自動販売機の省エネ

東京都総合防災訓練「帰宅困難者対策訓練」の実施

東日本大震災では、交通機関の停止で多くの帰宅困難者が発生した状況を踏まえ、東京都は東京・新宿・池袋の3駅周辺で2012年2月3日に帰宅困難者対策訓練を実施しました。

東京国際フォーラムは、東京駅周辺の一時滞在施設として受入体制の訓練をおこないました。

- 一時滞在施設として、受入体制整備の訓練 約530名の帰宅困難者(訓練参加者)を受け入れました
- 帰宅困難時の一時滞在及び宿泊訓練
- 被害・通信網・交通機関の状況を掲示とアナウンスで随時情報提供
- 帰宅方面別割振り誘導訓練 千葉方面の方(約100名)を有明埠頭行きのバス3台へ誘導 千葉方面以外の方(約430名)を日比谷公園へ誘導





リーディング・コンベンション&アートセンターを目指して

施設の大規模改修

1997年にオープンした東京国際フォーラムは、リフレッシュのため 2009年から 10ヶ年計画で、大規模改修工事を行っております。

この改修の目的は、単に当館を竣工当時の状態に復元するためだけではなく、これからのお客様のご要望に十分お応えできる機能向上、そしてより安全・安心で、環境問題にも配慮された施設への進化を目指しております。

展示ホール



床面リフレッシュ、音響・電気設備の更新

ホールD7



照明・音響・電気設備の更新

ホールD5



カーペット張替え、照明・音響・電気設備の更新

喫煙ブースの新設(ホールA、ホールC)



ホールAおよびホールCに喫煙ブースを新設

地上広場の植栽植替え(有楽町側)



地上広場有楽町側のケヤキ・カツラの植替え

外壁のリフレッシュ



ホール棟・ガラス棟外壁のリフレッシュ

木リブ壁・連絡ブリッジのリフレッシュ



木リブ壁、スロープ・連絡ブリッジのリフレッシュ

利用受付・打合せコーナーのリニューアル



ガラス棟1階利用受付・打合せコーナーのリニューアル

さまざまな取り組み

環境への取り組み

太陽光発電システム

東京国際フォーラムは、屋上に設置した太陽電池により発電した電気を、館内の電源の一部として使用しています。システムは太陽電池で発電した直流電力をパワーコンディショナーにより交流電力に変換し、商用電力に供給しています。



生ごみからエネルギー

東京国際フォーラムの飲食店舗やケータリングサービスから廃棄された生ごみは、大田区にある食品リサイクル工場に運搬されます。

工場内では、生ごみからメタン発酵によりメタンガスを発生させ、コージェネレーションシステムの燃料として利用され、「電気」と「熱」エネルギーを生み出します。

2011 年度は、約 110 t の生ごみからメタンガスを約 21,300 N m 発生させ、電力として約 26,500k Wh、熱として約 84,500 M のエネルギーにリサイクルしました。年間で約 16 t の $\rm CO_2$ 削減効果となりました。

東日本大震災 復興支援の取り組み

被災地自らが開催する催事に協力することで、東京国際フォーラムは東日本大震災からの復興を支援しております。

- 1 「なみえの"しゃべり場"〜集まれ!浪江のなかま〜」主催 浪江町 2012年1月27日(日)ホールD5 東日本大震災と原子力発電所の事故によって全町避難をしている浪江町が、町民が集い、語り合う県外町民交流会「な みえの"しゃべり場"」を開催しました。
- 2 「がんばろうふくしま!大交流フェア」 主催 福島県 2012年3月20日 (火・祝) 展示ホール、地上広場 「がんばろうふくしま!大交流フェア」のテーマのもと、東日本大地震以降初めて開催された、福島復興をPRする為のイベント。約15,000人の来場があり、大盛況のうちに終了しました。

地域との連携・協力

いま、わたしたちにできること。2012 ~KOBE MEMORIAL 1·17 灯りのつどい~ (1月14日)

未曾有の被害をもたらした阪神・淡路大震災から 17 年目を迎える 2012 年。東京国際フォーラムでは、東京災害ボランティアネットワークが主催する「いま、わたしたちにできること。2012~KOBE MEMORIAL1.17 灯りのつどい」に共催しました。この取り組みは、阪神・淡路大震災で犠牲になられた方々の冥福を祈り、そして数多くの市民の方が防災・減災について、いのちとくらしについて気づく機会とすることを目的としており、東京国際フォーラムでは 2003 年より開催されています。今年は東日本大震災を経験し、より防災・減災への意識が高まる中での開催となりました。

会場では、ろうそくを入れた約800個のグラスを使って「1.17 KOBE」の文字を作り上げます。17時30分にすべてのろうそくに火をともし、17時46分、静かに美しく揺らぐろうそくの灯りの中、全員で黙とうが捧げられました。また、「煙」「応急救護」を体験できるコーナーのほか、防災グッズなどの展示や防災クイズなどのイベント、炊き出しを実施しました。





財務諸表

貸借対照表 2012年3月31日現在

科目	金 額(単位:千円)	科 目	金 額(単位:千円)
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,884,176	流動、負債	2,008,812
現金及び預金	2,836,461	買 掛 金	983,136
売 掛 金	414,061	リ ー ス 債 務	39,164
有 価 証 券	264,747	未 払 金	160,648
商品	142	未 払 費 用	5,113
貯 蔵 品	16,292	未 払 法 人 税 等	8,321
前 払 費 用	18,836	未 払 事 業 所 税	56,526
繰 延 税 金 資 産	18,745	前 受 金	709,104
未 収 入 金	19,040	預 り 金	9,871
未収還付法人税等	62,768	賞 与 引 当 金	36,925
未収消費税等	3,671		
立 替 金	239,289		
そ の 他	122		
貸 倒 引 当 金	Δ 10,003		
固定資産	2,368,594	固定負債	856,341
有形固定資産	1,033,607	リース債務	89,824
建物	752,315	退 職 給 付 引 当 金	227,060
構築物	38,213	長 期 預 り 保 証 金	539,456
車 両 運 搬 具	573		
器 具 及 び 備 品	123,119	負 債 合 計	2,865,154
リース資産	119,385	(純資産の部)	2 207 /1/
無形固定資産	42,425	株 主 資 本 資 本 金	3,387,616 490,000
商標権	697	利益剰余金	2,897,616
ソフトウェア	35,831	利益準備金	14,700
電話加入権	1,905	その他利益剰余金	2,882,916
電気通信施設利用権	3,990	繰越利益剰余金	2,882,916
电双型旧池欧州加催	5,330		2,002,310
投資その他の資産	1,292,561		
投 資 有 価 証 券	917,230		
長 期 預 金	290,000		
固定化営業債権	675		
繰 延 税 金 資 産	85,261		
そ の 他	70		
貸 倒 引 当 金	△ 675		
		純 資 産 合 計	3,387,616
資 産 合 計	6,252,770	負債及び純資産合計	6,252,770

損益計算書 2011年4月1日から2012年3月31日まで

科 目	金 額(単	位:千円)
売 上 高		6,259,574
売 上 原 価		4,883,094
売 上 総 利 益		1,376,480
販売費及び一般管理費		1,379,930
営業 損失		△ 3,449
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	7,461	
雑 収 入	22,304	29,765
営 業 外 費 用		
支払利息	610	
雑 損 失	5,419	6,030
経常 利益		20,285
特別利益		
損失補償金受入額	4,480	
避難者支援補償金受入	17,300	21,780
特別 損失		
固定資産除却損	26,778	
災害による損失	1,680	
避難者支援損失	3,410	
主催者弁済金	5,945	
店舗休業補償金	2,226	40,039
税引前当期純利益		2,026
法人税、住民税及び事業税	1,319	
法 人 税 等 調 整 額	△ 104,006	\triangle 102,687
当 期 純 利 益		104,713

トピックス

2011年度来館者数

- 2011 年度来館者数 (推定延べ人数) は 2193 万人となりました。
- 昨年度比 5.5%減
- 催事参加者数・店舗等利用者数が減少したため、2011 年度来館者数(推定延べ人数)は減少しました。

震災の影響による催事の取り止め・規模縮小、また、 震災の影響や大規模改修に伴う施設の一時貸出休止の影響により、催事参加者数が減少しました。

また、店舗の入れ替えに伴う工事期間中の閉鎖や「ごはんミュージアム」の閉館(2011年2月)により、店舗等利用者数も減少しました。

施設見学者・施設通過者数は2010年度の数値を基に平日/休日日数・うるう年・施設閉館日(1月1日、2月20日)の影響を織り込み、推定しております。

来館者延人数(推計値)の推移



(注) 店舗等利用者のうち、飲食店舗はレジ打ち数

千代田区から防災貢献者として表彰されました

東京国際フォーラムは、震災総合訓練実施など防災対策への積極的な取組み、3月11日の帰宅困難者受け入れ等の地域貢献、8月に開催される CSR 事業「丸の内キッズフェスタ」での幼児等への防災啓蒙などの活動が評価され、9月1日の「防災の日」に千代田区防災貢献者として表彰されました。





東京消防庁から消防総監感謝状が授与されました

東京国際フォーラム内の店舗で倒れ、心肺停止状態の男性がいるとの連絡を受け、駆けつけた館内警備員3名が心肺蘇生とAEDによる処置を迅速に行い、救急隊に引継ぎました。この人命救助功労に対し、7月15日に丸の内消防署長から消防総監感謝状が授与されました。

新店舗オープン

6 月 20 日 ベーカリーカフェ&レストラン「神戸屋ダイニング」 Cブロック1階 地上広場側

8 月 1 日 レストラン「ラ・メール・プラール」、ウェディング施設「ミラキュルーズ」 A ブロック 1 階 地上広場側

10 月 5 日 イタリアンバール「ラ・カンティネッタ」 C ブロック 1 階 皇居側 ※リニューアルオープン

12 月 22 日 ホームメイド ホットドッグ&バー「4R DANISH CAFE」 A ブロック 1 階 皇居側

神戸屋ダイニング

ラ・メール・プラール

ラ・カンティネッタ

4R DANISH CAFE









東京国際フォーラムの沿革

基本構想から開館まで

1980年	12月3日	「マイタウン構想懇談会コミュニティ部会」でシティ・ホールの建設を提言
1985 年	8月22日	「東京都シティ・ホール建設計画基本構想」を発表
1986 年	1月24日	「東京都東京国際フォーラム建設等審議会発足」(1987年 12月 24日最終答申)
1989 年	11月2日	国際公開設計競技の審査の結果、ラファエル・ヴィニオリ氏(米)が最優秀賞
1992年	10月9日	建築工事着工
1994 年	9月1日	財団法人東京国際交流財団 設立
	12月1日	東京国際フォーラム 施設利用申込の受付開始
1996 年	5月31日	東京国際フォーラム 建物竣工
	7月1日	財団法人東京国際交流財団、東京都から東京国際フォーラムの貸付を受ける
1997年	1月10日	東京国際フォーラム 開館

財団法人東京国際交流財団から株式会社東京国際フォーラムへ

1997年		~3月29日	東京国際フォーラム開館記念"東京ときめきフェスタ"実施
	3月1日	•	ホール・会議室等一般利用開始
2000年	12月24日	~ 1月1日	年末イベント"フォーラム・ミレナリオクラブ"実施(以降2005年末まで毎年実施)
2001年	10月1日 12月21日		プラザ(現「地上広場」)一般利用開始
	12月21日	•	東京国際フォーラム 株式会社化の発表
2002年	8月		東京国際フォーラム開館 5 周年記念事業の実施("トーキョーアートジャングル"他)
2003年	4月4日		株式会社東京国際フォーラムの設立 (代表取締役 三宅広人)
	5月22日		代表取締役社長に鳥海 巌 が就任
	7月1日		財団法人東京国際交流財団から株式会社東京国際フォーラムへの事業譲渡

株式会社東京国際フォーラム

2003年	7月1日	株式会社東京国際フォーラム本格稼動 館内サインの一新・ホール等の施設名称の一部変更、開館時間の延長(7:00~23:30)、 新施設利用料金体系の導入
	7月	地上広場に「ネオ屋台村」登場(以降平日の毎日)
	10 月	地上広場こ「大江戸骨董市」登場(~2005年9月まで毎月1回開催、2005年10月以降毎月2回開催)
	11月1日	「相田みつを美術館」オープン
0004 #	6月	地上広場に照明灯(ライティングポール/光柱)設置
2004年	7月	ネオ屋台村スーパーナイト第1回開催
2005年	4 H 04 D - 5 H 1 D	"ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭 2005"の実施(以降毎
	4月24日 ~ 5月1日	年ゴールデンウィークに実施)
	4 月	ホール A 女子トイレの増設、展示ホール用エレベーター設置、東京駅連絡口エスカ
2006年	4 月	レーター設置、B ブロック 1 階地上広場側喫煙ルーム設置(地上広場完全禁煙化)
	12月8日 ~ 1月15日	年末イベント "HARMONIA" 実施 (2006・2007 年にも実施)
	·圣仁:	開館 10 周年記念事業の実施(8 月"丸の内 KIDS フェスタ"等)"丸の内 KIDS フェス
2007年	通年	タ"は毎年8月中旬に継続実施
		The state of the s
	6月1日	会議室 G701(4月末竣工)の一般貸出開始
2008 年	6月1日 8月	
2008年		会議室 G701(4 月末竣工)の一般貸出開始
	8月	会議室 G701(4 月末竣工)の一般貸出開始 東京国際フォーラム環境方針の決定
2008年	8月 4月	会議室 G701 (4 月末竣工) の一般貸出開始 東京国際フォーラム環境方針の決定 中期修繕 10 ヶ年計画に基づく大規模修繕工事の初年度
2008年	8月 4月 12月	会議室 G701 (4 月末竣工) の一般貸出開始 東京国際フォーラム環境方針の決定 中期修繕 10 ヶ年計画に基づく大規模修繕工事の初年度 年末イベント"ストラスブールのマルシェ・ド・ノエル"の実施(2010 年 12 月も継続実施)
2008年	8月 4月 12月 1月	会議室 G701 (4月末竣工) の一般貸出開始 東京国際フォーラム環境方針の決定 中期修繕 10ヶ年計画に基づく大規模修繕工事の初年度 年末イベント"ストラスブールのマルシェ・ド・ノエル"の実施(2010年12月も継続実施) ガラス棟屋上および同7階テラスの緑化実施
2008年 2009年 2010年	8月 4月 12月 1月 2月	会議室 G701 (4月末竣工) の一般貸出開始 東京国際フォーラム環境方針の決定 中期修繕 10ヶ年計画に基づく大規模修繕工事の初年度 年末イベント"ストラスブールのマルシェ・ド・ノエル"の実施(2010年12月も継続実施) ガラス棟屋上および同7階テラスの緑化実施 ホールA音響設備等、第1期リニューアル工事終了
2008年	8月 4月 12月 1月 2月 2月	会議室 G701 (4月末竣工) の一般貸出開始 東京国際フォーラム環境方針の決定 中期修繕 10ヶ年計画に基づく大規模修繕工事の初年度 年末イベント"ストラスブールのマルシェ・ド・ノエル"の実施(2010年12月も継続実施) ガラス棟屋上および同7階テラスの緑化実施 ホールA音響設備等、第1期リニューアル工事終了 ホールA音響設備等、第2期リニューアル工事終了
2008年 2009年 2010年	8月 4月 12月 1月 2月 2月 3月11日	会議室 G701 (4月末竣工) の一般貸出開始 東京国際フォーラム環境方針の決定 中期修繕 10ヶ年計画に基づく大規模修繕工事の初年度 年末イベント"ストラスブールのマルシェ・ド・ノエル"の実施(2010年12月も継続実施) ガラス棟屋上および同 7 階テラスの緑化実施 ホール A 音響設備等、第1期リニューアル工事終了 ホール A 音響設備等、第2期リニューアル工事終了 東日本大震災発生 東京国際フォーラムは帰宅困難者の受入を実施
2008年 2009年 2010年	8月 4月 12月 1月 2月 2月 2月 3月11日 3月31日	会議室 G701 (4月末竣工) の一般貸出開始 東京国際フォーラム環境方針の決定 中期修繕 10ヶ年計画に基づく大規模修繕工事の初年度 年末イベント"ストラスブールのマルシェ・ド・ノエル"の実施(2010年12月も継続実施) ガラス棟屋上および同 7 階テラスの緑化実施 ホール A 音響設備等、第 1 期リニューアル工事終了 ホール A 音響設備等、第 2 期リニューアル工事終了 東日本大震災発生 東京国際フォーラムは帰宅困難者の受入を実施 ホール D1 リニューアルオープン(固定座席のシアター形式から平土間形式に改装)

施設概要

名称	東京国際フォーラム(英文名称:Tokyo International Forum)		
所 在 地	東京都千代田区丸の内三丁目 5番 1 号		
敷 地 面 積	約 27, 000 ㎡		
延床面積	約 145,000 ㎡		
開館年月日	1997年1月10日		
所 有 者	東京都		
運営管理団体	株式会社東京国際フォーラム		
設 計 者	ラファエル・ヴィニオリ	(Rafael Viñoly) <国際設計競技当選者・米国>	
	ホールA	劇場形式/座席数:5,012席(二層式:1階席3,025、2階席1,987)	
	ホール B7	平土間形式/床面積:1,400 m² (二分轄可:670 m²/670 m²)	
	ホール B5	平土間形式/床面積:600 m² (二分轄可:280 m²/300 m²)	
	ホールC	劇場形式/座席数:1,502席(三層式:1階席739、2階席363、3階席400)	
a state	ホール D7	平土間形式/床面積:340 m²(引き出し式収納席 100 席/180 席)	
ホール等	ホール D5	平土間形式/床面積:285 m²	
	ホール D1	平土間形式/床面積:137 m²	
	展示ホール	床面積:5,000 m² (二分轄可:3,000 m²/2,000 m²)	
	会議室	Dブロック会議室(4·5階):3室、ガラス棟会議室(4~7階):31室(4~6階各階10室、7階1室)	
	その他	ロビーギャラリー: 560 m² ラウンジ: 224 m²	
	規模	面積:約4,000 m²(長さ:約210m 最大幅:約30m 高さ:約60m)	
ガラス棟	ガラス枚数	約3,600枚(西側:約1,800枚 屋根:約1,000枚 東側:約800枚)	
	ガラス大きさ	壁面: 2.6m×2.5m 屋根: 1.7m×1.9m	
	規模	面積:約8,700 m²	
地上広場	植栽等	植栽: 欅 42 本、桂 15 本 ベンチ: 2 名掛 48 箇所	
	その他	貸出スペース: A/約850 m² B/約650 m² C/約380 m² D/約162 m²	
	利用時間等	地下 3 階/7:00~23:30 (年中無休)	
駐 車 場	収容台数	420 台 (うち身障者専用7台)	
	利用料金	30分200円	
	カフェ・レストラン	13 店舗(地下1階:6店舗 1階:4店舗 2階:1店舗 7階:1店舗)	
店舗等	ショップ	2 店舗 (アートショップ、コンビニエンスストア)	
/白 酬 寸	サービス	3店舗(旅行代理店、チケットセンター、リラクゼーション)	
	美術館/ウェディング	「相田みつを美術館」/地下1階、「ミラキュルーズ」(ウェディング)/1階	
アートワーク	「赤と黒」(エルズワー)	ス・ケリー)など 134 点(作者 50 名)	











ホールA

ホールB7

ホールC

展示ホール

本報告書に使用した写真は、以下の各社・各人のご協力によります。 川澄建築事務所、齋部 功、デジタルフォトム、西畑 孝則、三浦 興一 (50 音順)



〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号 TEL 03-5221-9000(代)

http://www.t-i-forum.co.jp

2012年7月発行 9月改訂